

(2) 総合評価シート（様式）

指定管理者制度導入施設の管理運営状況総合評価シート（令和5年度）

施設名	吹田市立内本町コミュニティセンター	所管部室課名	市民部市民自治推進室
所在地	吹田市内本町2-2-12	設置年月日	平成8年6月12日

1 施設の概要

(1)設置目的	文化学習活動、ボランティア活動等市民の多様な地域活動の用に供し、地域における情報の交流を促すとともに、世代を超えた市民の連帯を深め、潤いのある豊かな地域社会の形成に寄与する。		
(2)規模、開館日等	ア【規模】 1 敷地面積 1,355.68㎡ 2 延床面積 2,233.62㎡ 3 多目的ホール 1室 4 会議室 2室 5 音楽室 1室 6 和室 2室	イ【開館日等】 1 休館日：12月29日から1月3日、施設の点検日 2 開館時間：午前9時から午後10時	7 料理実習室 1室 8 創作室 1室

2 指定管理者の概要

(1)指定管理者	吹田市JR以南コミュニティ協議会				
(2)指定期間	令和3年(2021年)4月1日～令和8年(2026年)3月31日(5年間)				
(3)選定方法	非公募				
(4)指定管理者が行う業務内容	施設の管理運営業務				
(5)指定管理者の収支			令和4年度		令和5年度
			計画	実施結果	計画
	収入	指定管理料又は利用料金(円)	20,066,015	19,329,833	21,333,552
		自主事業(円)	4,241,700	3,628,108	4,622,140
		その他(円)			
	支出	管理経費(円)	20,066,015	19,329,833	21,333,552
		自主事業(円)	4,241,700	3,628,108	4,622,140
		その他(円)			
	収支差額(円)		0	0	0

3 成果指標（活動指標）

成果指標（活動指標）		令和4年度		令和5年度	
		計画	実施結果	計画	実施結果
1	利用件数	-	4,277件	-	4,347件
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					

4 利用者ニーズの把握状況

(1)把握方法	利用者アンケートの実施
(2)把握結果	主な意見として、次のものがあつた。 1.トイレを洋式にしてほしい 2.ネット予約がわかりにくい
(3)結果を受けての対応状況	1.設備については、市と連携して随時更新を行っていく。 2.予約用パソコンを設置するなどして利用者に丁寧に説明を行っていく。

5 管理運営状況に対する評価

項目	評価
(1)市民の平等な利用の確保	1. 管理運営の方針は、事業計画書に記載されている事項を遵守されていた。 2. 平等利用の確保は、利用者の公平性が確保されていた。
(2)施設の効用の発揮	設置目的に合致した事業計画に沿った運営を行いながら、サービス向上に努めており、利用者アンケートの満足・やや満足の割合が高い。消防訓練等も実施されており、安全対策も徹底されていた。「0歳から100歳まで」使ってもらえるコミセンをテーマに 比較的利用の少ない年齢層である若年層を呼び込む講座を多数設置。0歳児からクラシックを聴けるファミリーコンサートや、コミセンまつりにおいて近隣の大学生に運営等に関わってもらうことで施設での多世代交流を促した。
(3)管理を安定して行う人員、資産その他の経営規模及び能力	1.年6回スタッフ会議を開催し、円滑に事務を行えるようにしている。 2.市等関係機関への通報ルートも整備されている。 3.雇用契約書が交わされており、法令も順守されたものとなっていた 4.緊急時対応マニュアルを作成しており、消防訓練を年2回実施している
(4)施設の管理経費の縮減	廊下等で不要な電気は消灯している。こまめな消灯やエアコンの温度設定による節電など、光熱水費や事務経費の節減に取り組んでいた。
(5)その他	広報誌「ざ・コミセン」の発行、独自ホームページによる広報活動を行い、ホームページでは空室情報を公開し利用促進を行っている。広報誌にQRコードでホームページにアクセスできるようになっており、WEBによる情報発信も行っている。
(6)総合評価	運営体制、運営内容に関しては概ね適正かつ誠実に実施されている。また、アンケート結果からも利用者満足度は高く、管理運営は順調である。イメージキャラクターを作成し、掲示物等に積極的に活用することにより施設のイメージアップと愛着形成を図るなど利用促進が図られている。